

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月24日			
平成15年度	事業コード	14122	電話	756-0290
担当部課名	生涯学習部	総合学習センター	所	研究・研修 班
事務事業名	教職員研修事業			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成いたします	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	13年度
施策名	第2施策	小・中学校教育の充実 / 教職員の研究・研修の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

なし
----

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
教職員として必要な専門的資質・能力の充実と指導力の向上をめざして、理論的・演習的な研修事業を実施し、教育実践の充実・発展と教師の自己啓発に役立つ研修の推進を図ることを目的とする。	教職員 市民(市民公開講座)
	対象数 2,131人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修講座(教職専門講座等 52講座 2,148人参加 内市民参加 6講座 49人)</li> <li>教育課題宿泊研集(1泊2日)1講座 100人参加)</li> <li>社会体験研修(1講座4研修 23人参加)</li> <li>市内巡検(1講座 25人参加)</li> </ul> 1. 講師謝礼等 3,670千円 2. 研修用消耗品等 188千円 3. 事務委託料等 269千円 計 4,127千円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	なし
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	研修講座参加率	研修参加者÷教職員数×100 参加者数H13年度 2,097人 H14年度2,296人 H15・16年度6,161人	多くの教職員に研修講座に参加してもらい指導力、自己啓発の向上に資する。		95	104	279	279
	活動指標	研修講座開催時間数 (開催時間数) H13・14 約11,100時間 H15・16 約26,400時間	教員1人あたりの平均研修開催時間数により活動量を計る。		5	5	12	12

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
			3,541	4,127	7,046	7,046
	人員・時間数		3人	3人	8人	8人
	人件費		2,517	2,517	6,712	6,712
	その他経費					
	合計	0	6,058	6,644	13,758	13,758
	特定財源					
	対象数		2,094	2,131	2,130	2,130
	対象の単位あたり経費	#DIV/0!	2.9	3.1	6.5	6.5

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	研修テーマにより、参加者にばらつきがあり、どのようなテーマにするか、参加者のニーズを考えて事業計画をする必要がある。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある
		説明	社会の変化に適切に対応でき、教科教育に係わる基礎的、専門的分野についての研修を推進しており、教職員の資質向上等に必要事業である。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	研修で、理論的・演習的な講座を設定し、教育実践の充実・発展と教師の自己啓発に推進に資するための事業である。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	約3,000人が受講し、一定の成果があり、市民公開講座についても参加者が多くなっており、成果があった。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	研修講座については、学校長の推薦のもの、本人が希望するもの、市民公開講座等を実施しており、研修参加についての、制限等は設けていない。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 研修内容については、県との重なり等も含め見直したが、15年度に研修が増える中で、見直していく必要がある。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
	今後の進め方	平成15年度より、中核市移行に伴い県から教職員研修事業が委譲されることから、研修体系を見直し研修内容について再構築していく必要がある。類似市との比較であるが、横須賀市が平成13年度より、中核市に移行していることで、研修事業について参考にしたいところであるが、研修事業が委譲後まもないことから対応ができていく状態である。時期を見て、比較・検討したい。
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	平成15年度は、教職員研修事業の体系化、組織化を図り研修を推進する必要がある。このため、基本的には、継続する事業であるが、次の方向で見直したい。
<input type="checkbox"/>	廃止	1. 研修の基本方針、ねらい、課題等の明確化を図る。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	2. 県から委譲される研修と市で行っている研修を見直し、整理統合する。
3. 研修の実施方法については、選択性や参加型の研修を導入する。		

12 二次評価コメント

--